

関市男女共同参画推進イベント



「こうあるべき」を、
疑ってみる

あきもとさん家の 家族会議

9月17日(日) 13:30~15:30

わかかさ・プラザ
多目的ホール

「男女平等」は、スタンダード(標準)…なはずなのに、男は○○、女は□□と、
性別によって特性や役割を決めつけてしまうこと、決めつけられてしまうこと、まだまだありませんか。
そんな「決めつけ」について、あきもとさん家の3人がそれぞれの立場から楽しく意見交換をする
「公開家族会議」を行います。
性別ではなく、個を大切に…。あなたはあなたの「個」を大切にしていますか?大切にされていますか?
未来に、こどもたちにどんな社会をつなげたいですか?
これからのあり方、歩み方、「家庭」や「職場」、「学校」などで、役立つヒントがきっとみつかるはずです。

ゲスト：あきもと家から3人(本当のご家族です)

父 であり

夫・経営者・先生(教授)

秋元 祥治(あきもと しょうじ)さん



大学在学中の2001年、地元・岐阜市を活性化したいとNPO法人G-NETを設立し代表理事に。13年・33歳で岡崎ビジネスサポートセンターの立ち上げを行い、中小企業の売上アップをサポートに取り組む。内閣府「地域活性化伝道師」等、公職も多数。21年、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部の立ち上げに参画し、教授。著書に「20代に伝えたい50のこと」

母 であり

妻・ワーキングマザー・文筆家

高嶋 舞(たかしま まい)さん



岡崎ビジネスサポートセンター・オカビズ センター長。地方中小企業の売り上げアップ支援を行う。オカビズではLGBTQ研修を実施、平成27年度内閣府「女性のチャレンジ支援賞」受賞するなどダイバーシティへの理解が深い。また3児の母。子どものオーナーシップを育てる子育てを実践中。令和4年には「怒らなくても自分からやる子が育つ親の言動」を出版。

子 であり

中学生・作家

うい さん



小学2年生の時に書いた「しょうがっこうがだいすき」は自費出版を経て絵本として商業出版され、現在、異例の13万部を突破。中国語にも翻訳されている。2作目の「みんな えがおになれますように」では、性の多様性をテーマに描き、台湾のデジタル担当大臣オードリー・タンさんや、日本文学研究者で早稲田大学特命教授のロバートキャンベルさんとの対談を果たした。

●開催案内●

場 所：わかかさ・プラザ 学習情報館 多目的ホール(関市若草通2-1)

対象・定員：どなたでも・200人(申込順)

参加費：無料

申込方法：右の二次元コードまたは照会先に電話で申込み

申込期限：9月14日(木)午後5時まで

託 児：保護者が市内在住・在勤・在学の場合のみ、未就学児の託児を受け付けます。先着15人まで(別途申込みが必要) ※託児申込は9月1日(金)午後5時まで



照会先：関市 市民協働課 ☎0575-23-6806 ✉shiminkyodo@city.seki.lg.jp